

市政ニュース 速報版

2017年5月19日 日本共産党 岡山市議団 NO. 223
岡山市北区大供1-1-1 086-803-1707

岡山市議会
5月臨時会

議長の不信任を可決 それでも居座るの？

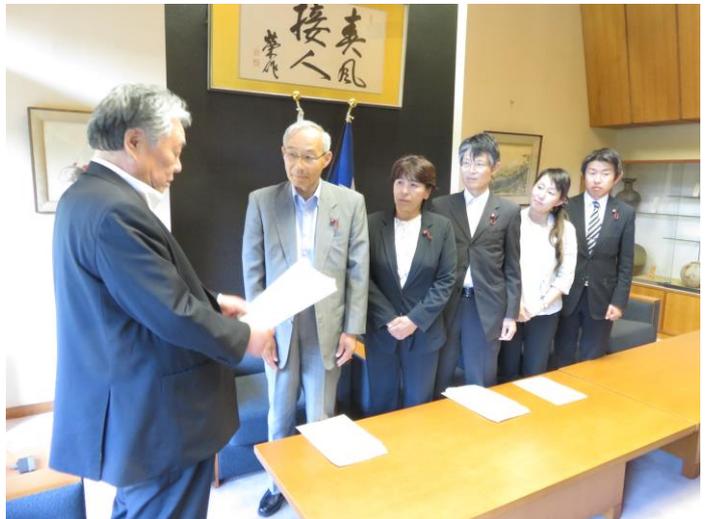
共産が提案し、圧倒的多数の賛成 ～可決は47年ぶり

岡山市議会5月臨時会は、当局提案の議案を可決・承認しました。その後、正副議長選びと常任委員会の改選に移るはずでしたが、ストップし紛糾しています。議長の宮武博氏が任期2年とした申し合わせを破って、辞職しない意向を表明したためです。

日本共産党岡山市議団は、議会の正常化を目指して18日、議長不信任決議案を提案しました。決議案は同日深夜の本会議で、賛成30、反対11、無効2の圧倒的多数で可決されました。

議決無視を厳しく批判

宮武氏はそれでもなお議長職に居座る意思を表していることから、市議団は19日午後、宮武氏に対して、議会の議決に従い、速やかに辞職願を出すよう求める申し入れを行いました。



宮武博氏に申し入れる市議団（5/19 議長応接室）

（申し入れの全文）

宮武博議長においては、平成29年5月18日の岡山市議会5月臨時会において議長不信任決議が賛成多数で可決されたにも関わらず、辞職願を提出することもなく、依然として議長職に留まっているという異常事態が続いています。

議長自らが議会の議決を無視することは、岡山市議会の権威を失墜させると共に、岡山市議会の他の全ての議決、予算や条例などの議決の価値をおとしめます。議会制民主主義のあり方を否定することに繋がり、市民の信頼を損ないます。

議会の議決を尊重しない議長のもとでは、岡山市議会の正常な議会運営は到底、困難です。

よって速やかに辞職願を提出するよう申し入れいたします。